



生徒総会をオンライン開催

谷和原中で初の試みも生徒に好感

いまだ続くコロナ禍の中、6月29日に谷和原中学校が生徒総会をオンラインで行いました。生徒会が中心となり企画し、各教室での機材の準備などを含め、生徒たちが協力しあい実行しました。生徒会広報担当の師井和花もろいふあふあさんは「機材トラブルが起こらないようにしっかりと事前準備をした」と話し、また、生徒会長の浦本千博うらもとちひろさんは「思ったよりもスムーズにできた。生徒からも好評で、できれば今後も活かしたい」と笑顔で語ってくれました。



オンラインでの生徒総会に臨む生徒たち



頃の活動の成果を存分に発揮

市中学校総合スポーツ大会を開催

令和2年度市中学校総合スポーツ大会が、7月23日から26日に行われました。初日の23日はあいにくの雨で、室内競技であるバスケットボール、剣道以外は中止となってしまいましたが、4日間を通して無事に全種目が終了しました。各種目ごとに感染症対策も行っており、閉会式の最後には、これまでともに活動してきた仲間たちと、支えてくださった方々への感謝の気持ちを表すために拍手を行いました。



田んぼアートが見頃に

色とりどりの稲が見る人の目を楽しませる

NPO法人古瀬の自然と文化を守る会（古瀬の会）が毎年行っている「田んぼアート」が見頃を迎えました。今年は新型コロナウイルスの影響で実施が危ぶまれましたが、5月に無事田植えが行われました。今年のテーマは「頑張ろう」。成瀬の交差点から守谷方面に都市軸道を1キロほど走った右側にあり、TXの下り線からも見ることができます。10月の稲刈り前まで楽しむことができ、10月の稲刈りイベントの際には収穫祭も行う予定です。

伝統と想いを繋ぐ小張松下流綱火

地域文化を学び次の世代へと引き継ぐ

小張小学校では例年綱火について学び、繰り返しなどで披露します。今年は7月29日から小張松下流綱火保存会の方と、同小6年生がお雛子の練習を始めました。6年生の宮田昇英みやたしょうえいさんは「難しさを乗り越え伝統を繋げたい」と、宮田來歩みやたらいふさんは「前から演奏に憧れていた。未来に受け継ぎたい」と話し、大山葵依おおやまあおいさんは「笛の音が出ず苦戦したけど楽しい」と笑顔で練習に励んでいました。綱火保存会会長の山口勝弘やまぐちかつひろさんも「のみ込みが早い」と感心していました。

